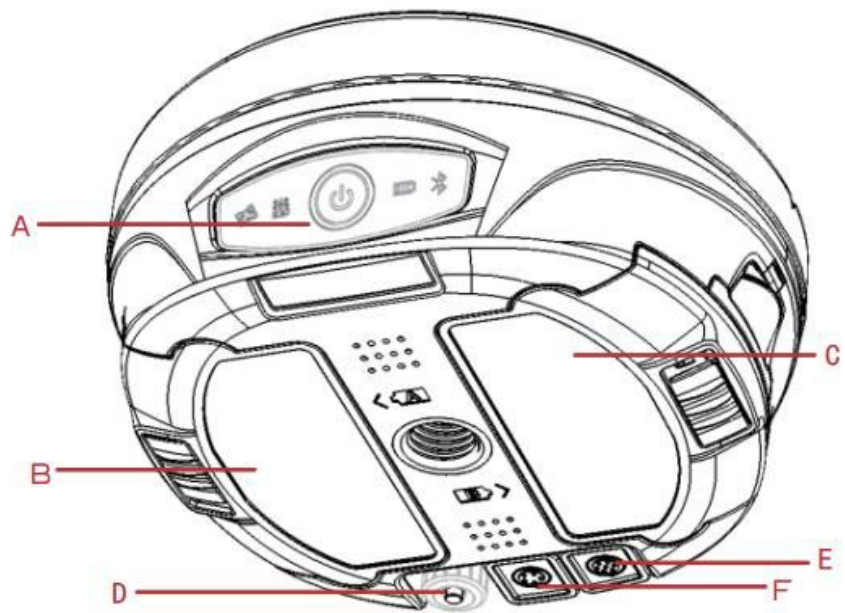


ST161

クイックスタートガイド



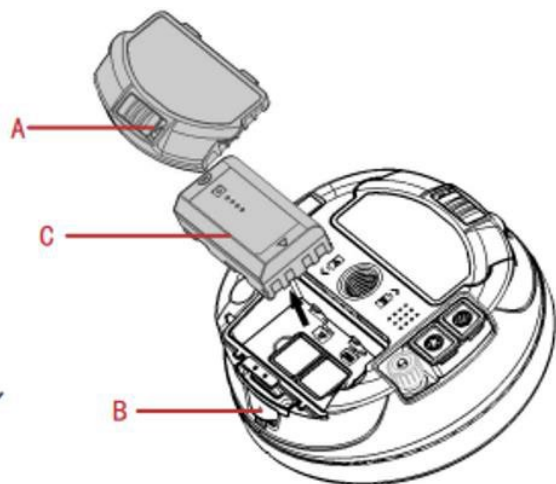
1. 外観の説明



- A : LED とボタン
B : バッテリーボックス A
C : バッテリーボックス B
D : UHF アンテナコネクタ
E : 7 PIN(USB /シリアル)コネクタ
F : 5 PIN

2. 操作の説明

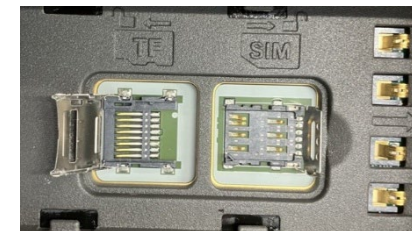
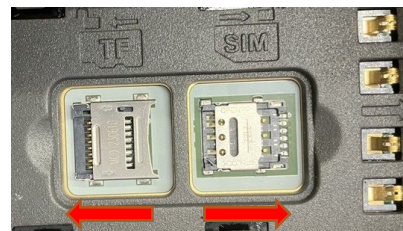
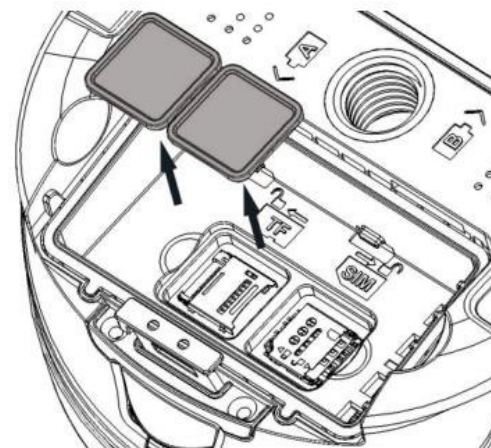
(1) バッテリーの取り付け



- A、バッテリーカバー
B、カバー開閉ボタン
C、バッテリー

- ①A のカバーのロックをスライドして解除します。
- ②B のボタンを押すとバッテリーカバーが外れます。
- ③バッテリーを入れて接点方向を接続部側に向けてスライドします。
- ④カバーをカチッと音がするまで閉じてスライドロックします。

(2) 拡張メモ리카ードと SIM カードの取り付け



- ①バッテリーカバーロックを解除して B のボタンを押してカバーを外します。
- ②SIM/TF メモ리카ードスロットの保護カバーを外します (上図参照)。
- ③各スロットをスライドして開き (上図参照)、SIM/TF メモ리카ードを入れ、逆方向にスライドして閉めます。
- ④スロットの保護カバーを付けてバッテリーカバーを閉じます。

(3) UHF アンテナの取り付け

- ①D の UHF アンテナコネクタのキャップカバーのロックをスライドして解除します。
- ②UHF アンテナのコネクタ部を本体のコネクタに合わせて挿入し、根元を回転させてねじ込みます。



3. LED とボタンの説明

ボタン	電源ボタン 	受信機電源のオン/オフ切り替え
LED	衛星 (赤・緑) 	消灯 : 受信衛星なし 赤点滅 : 受信衛星あり・測位なし 緑点滅 : 測位あり 緑点灯 : RTK-FIX 測位 赤・緑が交互に点滅 : GNSS メインボード異常
	データリンク (緑・青) 	緑点灯 : データリンク接続完了 緑点滅 : データ通信中 青点灯 : スタティックモードで観測中
	Bluetooth (青) 	消灯 : Bluetooth 接続なし 青点灯 : Bluetooth 接続あり
	バッテリー (赤・緑) 	緑点灯 : 30% -100% 使用可能 緑点滅 : 10%-30% 使用可能 赤点灯 : 10%以下 使用可能

4. 電源のオン/オフ

- オン : 電源ボタンを長押しするとブザー音と共に電源が入ります。
- オフ : 電源ボタンを長押しすると受信機の電源を切るか確認音声が鳴ります。再度電源ボタンを押すと電源が切れます。

5. Web UI

受信機の電源を入れた後、スマートフォンやパソコンを使用して受信機のシリアルナンバーのアクセスポイントに接続し、ブラウザ (Chrome を推奨) で次のアドレスにアクセスします。(図1)

アドレス : 192.168.10.1 (半角文字)

Web UI のパスワード入力画面が表示されますので次のパスワードを入力して「送信」をクリックします。

パスワード : password (半角文字)



図1 ログイン

本書では主要な機能を紹介します。

■ [ステータス]-[測位] (図2・図3)

測位状況を表示します。

システムモードの設定がステイックの場合は、データの記録/停止の制御ができます。
システムモードの設定が基地局の場合は、基地局機能の開始/停止の制御ができます。

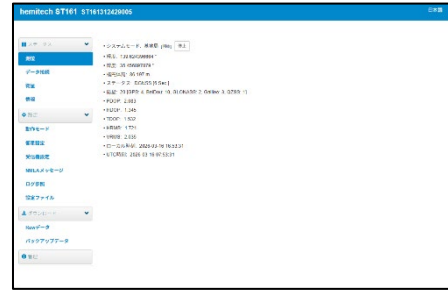



図2 測位 (パソコン)

パソコン画面 (図2) では、画面の左側にメニューが表示されます。

アンドロイド端末画面 (図3) では、画面上部の  をタップすることでメニューが表示されます。

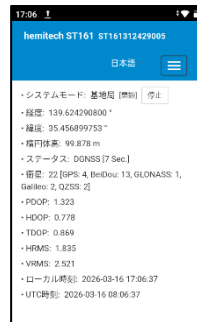


図3 測位 (アンドロイド端末)

■ [ステータス]-[データ接続] (図4)

システムモードの設定が移動局か基準局の場合は、補正情報の通信設定を表示します。

一部の機能はこの画面上で設定できます。

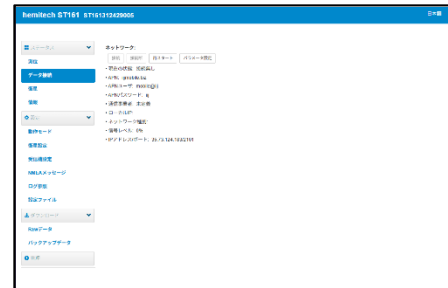


図4 データ接続

■ [ステータス]-[衛星] (図5)

受信している衛星の状態を表示します。
天球図を表示することができます。

仰角マスクを設定することができます。

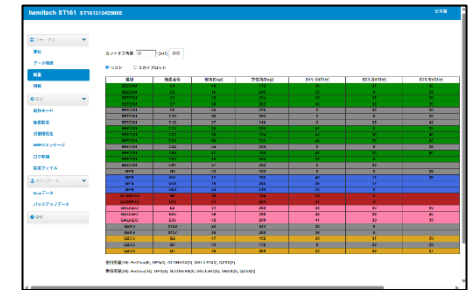


図5 衛星

■ [ステータス]-[情報] (図6)

受信機や内蔵している通信機器の情報を表示します。

無線局登録に必要な情報は、この画面を参照してください。



図6 情報

■ [設定]-[動作モード] (図7)

システムモードとデータ通信の設定ができます。

データ通信の選択にしたって必要な設定ができます。

システムモードを基地局にした場合は、基地局の詳細設定ができます。



図7 動作モード

設定後は[保存]をクリックします。 基地局設定の場合に、[保存して基地局機能開始]をクリックすると、ブザー音がして測位画面 (図1) に切り替わります。 [保存]をしないで他の画面に切り替えたときには、設定変更の確認画面が表示されます。

■ [設定]-[衛星設定] (図 8)

受信する衛星を選択することができます。

仰角マスクを設定することができます。

設定後は[保存]をクリックします。

[保存]をしないで他の画面に切り替えたときには、設定変更の確認画面が表示されます。

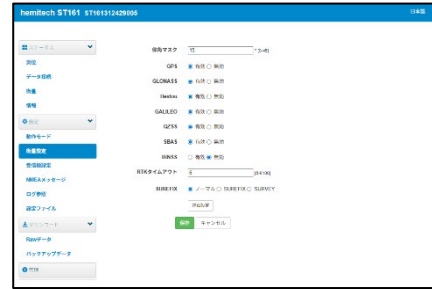


図 8 衛星設定

■ [設定]-[受信機設定] (図 9)

受信機の詳細を設定することができます。

設定後は[保存]をクリックします。



図 9 受信機設定

■ [設定]-[NMEA メッセージ] (図 10)

NMEA メッセージの出力の設定ができます。内部メモリに記録する場合は、NMEA 記録を「有効」にします。

設定後は[保存]をクリックします。



図 10 衛星設定

■ [設定]-[設定ファイル] (図 11)

受信機の設定を保存・適用することができます。また、受信機の設定を読み出したり、書き込んだりすることができます。

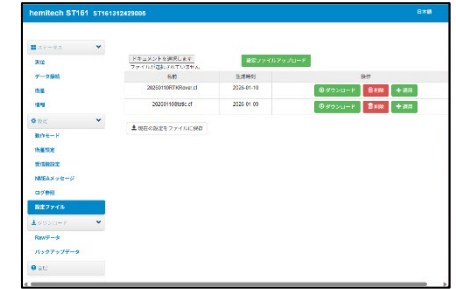


図 11 設定ファイル

■ [ダウンロード]-[Raw データ] (図 12)

スタティックモード時または Raw データを記録が[YES]の場合に、記録した Raw データをダウンロードできます。

また、NMEA メッセージや自己診断結果をダウンロードできます。

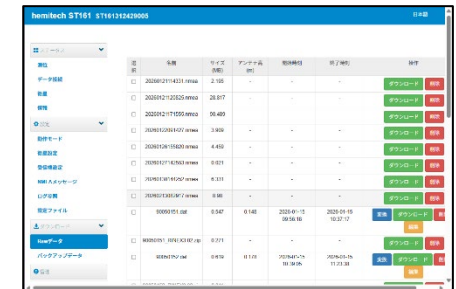


図 12 Raw データ

■ [管理] (図 13)

ファームウェアの更新などができます。

自己診断テスト・工場出荷時に戻す・リセット(再起動)をすることができます。

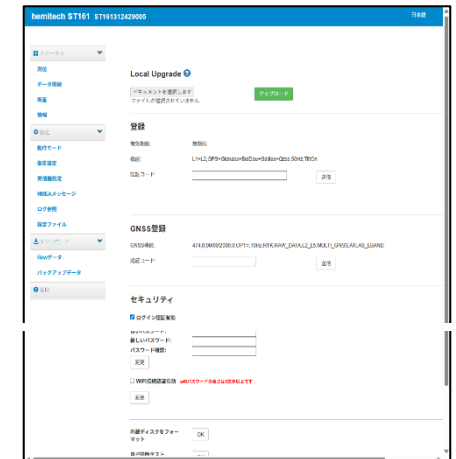


図 13 管理

6. 受信機バッテリーの充電

■ST161 のリチウムポリマースマートバッテリーは付属の充電器を使用して充電します。

充電器の LED で充電状態を確認できます。

赤点灯：充電中
緑点灯：充電完了

■バッテリー上面にボタンと 4 個の LED があり、ボタンを押すとバッテリー残量の確認ができます。

LED4 個点灯：フル充電
LED1 個点灯：バッテリー残量 25%以下